

7 業種部会合同の労使研修会に今年も参加！

今年も1月27・28日に開催された合同労使研修会に、当該部会は10組合13人・4企業4人で参加し、基調講演で「貿易自由化（TPP）と日本経済の今後」に関する講演を聴講し、二日目には、住宅設備部会と合同で、「東日本大震災以降のエネルギー需給について」と「労働基準法と三六協定の適正な運用」などについて研修を行いました。研修会に参加した、使側の参加者には、2012年春闘に関するJAM方針等について、本部の藤川副会長から直接説明を受けました。



合同労使研修会の開催に先立ちJAMの業種別部会担当副会長としての挨拶をする藤川副会長、写真上

合同労使研修会は今年も都合7業種別部会・総勢140人が、毎年会場としている静岡県の熱海後楽園ホテルに集まって開催されました。この研修会は、2001年1月に初回の合同労使研修会が開催されてから、業種別部会としての春闘の取り組みに関する情報交換と意思確認中心に開催され、今年で通算12回目の開催となりました。

2012春闘は、昨年に引き続き年間収入を1%引き上げることを主体に、個別単組がさまざまな要求根拠によって要求を組み立てるといった内容となっており、要求水準がわかりづらい、求心力不足などの指摘があり戦い方に工夫の必要があり、緻密且つ前向きな交渉の積み上げで妥

結点を導き出すことができると願っています。

労使研修会2日目は、住宅設備部会と合同で、個別課題研修として、両部会がそれぞれ選択した学習課題を持ち寄って勉強会をしました。研修会の終了に引き続き一昨年にスタートさせた住建政策研究会の2012年度一回目の研究会を開催し、両部会に集う組合員の生活



の安心・安全・安定に繋がる産業政策の立案に向け2年間をめどに検討を進めていくことが確認されました。

二日目の研修会の開会挨拶をする木澤部会長 写真上、東日本大震災以降のエネルギー需給について声明する経済産業省の金子審議官 写真左

*このニュースは、近日中にHPにアップします。

*欠席単組には昨日研修会資料を送付しました。